



ネットワークカメラ

セットアップガイド



ME20F-SHN

HDMI

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

本機の特長

ME20F-SHNIは、超高感度のカラー撮影が可能なネットワークカメラです。

超高感度撮影

フルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサー搭載

1辺19μm^{*1}の大きな画素を持ったフルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサーにより、超高感度撮影が可能です。

^{*1} 1μm(マイクロメートル)は100万分の1メートルです。

低照度カラー動画撮影

最低被写体照度0.0005ルクス以下^{*2}(ISO感度換算：400万相当)を実現。赤外線投光なしでノイズの少ないカラー動画撮影が可能です。

^{*2} カラー、蓄積なし、F1.2、シャッタースピード1/30秒時、50IRE、最大ゲイン75 dB時

高画質で多彩な表現力

高画質映像エンジン「DIGIC DV 4」搭載

フルHD対応35mmフルサイズCMOSセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」の組み合わせにより、低照度でもノイズの少ない高画質撮影が可能です。

EFレンズマウント採用

豊富なラインアップを誇るキヤノンのEFレンズやEF-Sレンズ、EFシネマレンズが使用可能^{*3}。多彩な映像表現を実現できます。

^{*3} 動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

カスタムピクチャー

ガンマなどの画質調整により、用途に応じた自由な画づくりが可能です。映像制作機器CINEMA EOS SYSTEMにも採用されているCanon LogやWide DRでの撮影も可能です。また、監視用途に適した「Crisp Img.(クリスピーイメージ)」では、十分な照度の環境においては、シャープネスを強める処理で、解像感の高い鮮明な描画を実現します。低照度の環境においては、照度に応じたノイズリダクションを行うことで、ネットワークの帯域に影響が少ない、データサイズを実現します。

ネットワーク対応

ネットワークに接続することで遠隔地からの監視や操作が可能になるだけでなく、各種インテリジェント機能やモバイル端末からの監視も可能になります(☞『操作ガイド ネットワーク編』)。

さまざまなシーンで異常を検知するインテリジェント機能

外部デバイスへの出力や映像記録などが可能なインテリジェント機能を標準搭載しています。人の目や耳に頼らない自動化された監視システムを実現し、監視業務の効率化に貢献します。

モバイルカメラビューワー 搭載

スマートフォンやタブレットなど、モバイル端末からカメラのモニタリングが可能です。どこからでも簡単にカメラの映像を確認できます。

Contents

「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください
(☐『はじめにお読みください』)。

本機の特長	2
-------------	---

はじめに

使用説明書の種類	6
本書の読みかた	6
各部の名称	8
カメラの操作方法について	12

セットアップ

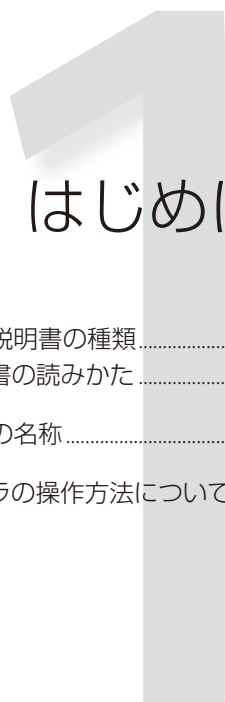
システム構成例	14
電源を接続する	15
PoE+ (Power over Ethernet+)	15
外部電源 (DC IN)	16
ネットワークに接続する	18
外部モニターと接続する	19
3G/HD-SDI端子を使う	19
HDMI OUT端子を使う	19
ブラックバランスを調整する	20
レンズの取り付け／取り外し	22
EFレンズを取り付ける	22
EFレンズを取り外す	24
メモリーカードをセットする	25
メモリーカードカバーの外し方	25
外部機器を接続する	26
本体を設置する	27
撮影時のポイント	27
カメラを再起動／リセットする	28
再起動	28
リセット	28
操作方法によるリセット項目の違い	29

接続

外部レコーダーと接続する	32
外部レコーダーへ記録の開始と停止を 要求する	32
RS-422/485端子に接続する	33
外部デバイスと接続する	34
外部デバイス入力端子 (IN)	34
外部デバイス出力端子 (OUT)	34
音声を入力・出力する	35
音声を入力する	35
音声を出力する	35
リモートコントローラー RC-V100 (別売) を 使う	36

その他

日常のお手入れ	38
充電式内蔵電池	38
カメラ本体を清掃する (日常のお手入れ)	38
対応レンズと機能	39
操作方法による設定項目一覧	40
ネットワーク経由だけで設定できる 項目	40
ボタン操作だけで設定できる項目	41
アクセサリ紹介	42
索引	43
商標について	44



はじめに

使用説明書の種類	6
本書の読みかた	6
各部の名称	8
カメラの操作方法について	12

使用説明書の種類

「はじめにお読みください」(同梱)

安全上のご注意、免責事項等の製品をご使用になる前に必ずお読みいただきたいことを説明しています。

「セットアップガイド」(本書)

各部の名称、セットアップ方法、アクセサリ等について説明しています。

「操作ガイド ネットワーク編」

ネットワーク経由でカメラを使用するときの操作方法を説明しています。

「操作ガイド ボタン編」

カメラ後面のボタンでの操作について説明しています。

「モバイルカメラビューワー操作ガイド」

モバイルカメラビューワーの詳しい使いかたについて説明しています。

「主な仕様」

カメラの仕様一覧です。

「カメラマネジメントツール使用説明書」

カメラマネジメントツールの詳しい使いかたについて説明しています。

「録画映像ユーティリティ使用説明書」

録画映像ユーティリティの詳しい使いかたについて説明しています。

■ 本書の読みかた

本文中の表記

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

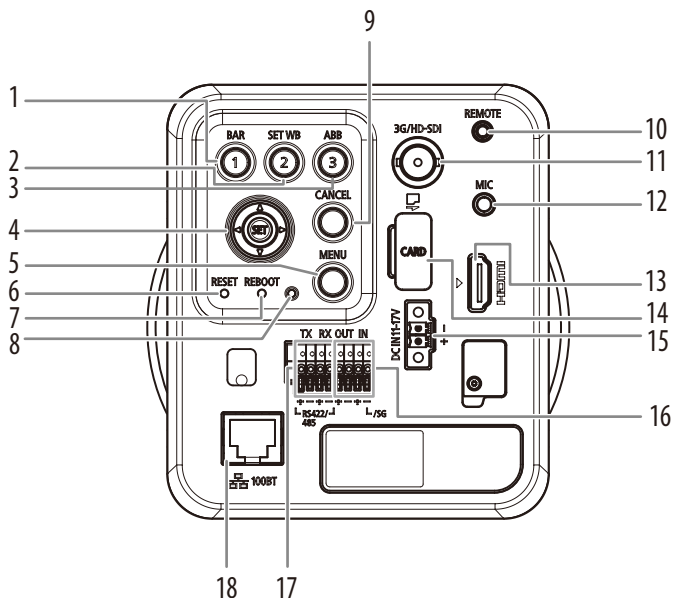
 参照ページ/ガイドを示す

- 本書で使用しているイラストのレンズは EF70-200mm F2.8L IS II USM と CN7×17 KAS S/E1 です。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されている参照先をご覧ください。

後面



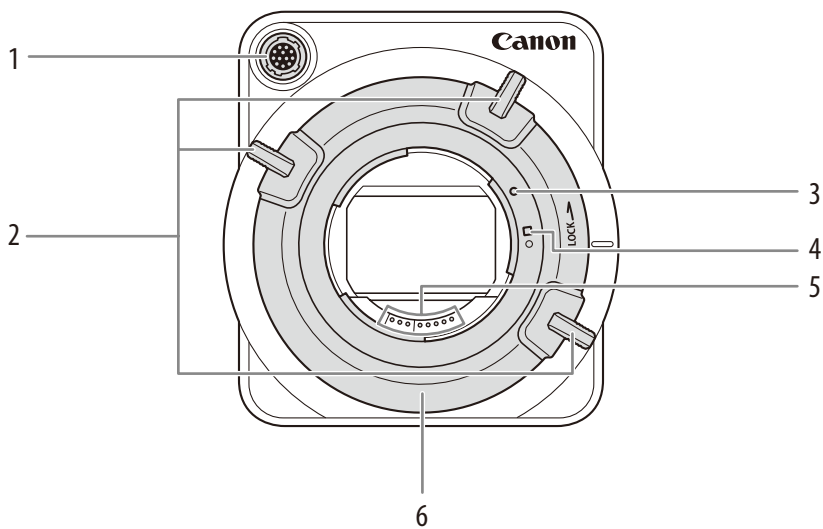
- 1 **BAR**(カラーバー) /アサイン1ボタン
▶▶ 操作ガイド ボタン編]
- 2 **SET WB**(ホワイトバランスセット) /
アサイン2ボタン▶▶ 操作ガイド ボタン編]
- 3 **ABB**(オートブラックバランス) /
アサイン3ボタン▶▶ 20
- 4 ジョイスティック
▶▶ 操作ガイド ボタン編]
- 5 **MENU**(メニュー)ボタン
▶▶ 操作ガイド ボタン編]
- 6 **RESET**スイッチ▶▶ 28
- 7 **REBOOT**スイッチ▶▶ 28
- 8 **POWER**(電源)ランプ*1▶▶ 28
- 9 **CANCEL**(キャンセル)ボタン
▶▶ 操作ガイド ボタン編]
- 10 **REMOTE**(リモート)端子*2▶▶ 36

- 11 **3G/HD-SDI** 端子▶▶ 19, 32
- 12 **MIC**(マイク)端子▶▶ 35
- 13 **HDMI OUT**端子▶▶ 19, 32
- 14 **メモリーカードスロット**(microSDメモリー
カード用)▶▶ 25
- 15 **DC IN 11-17V**端子▶▶ 16
- 16 **外部デバイス入出力端子**▶▶ 34
- 17 **RS-422/485**端子▶▶ 33
- 18 **100Base-TX LAN**コネクター▶▶ 18

*1 点灯ー電源投入時、再起動時、通常使用時 / 消灯ー
消灯選択時(▶▶ 操作ガイド ネットワーク編] 操作ガ
イド ボタン編])

*2 リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続する。

正面



1 LENS(レンズ)端子▶▶ 23

2 マウントレバー▶▶ 22

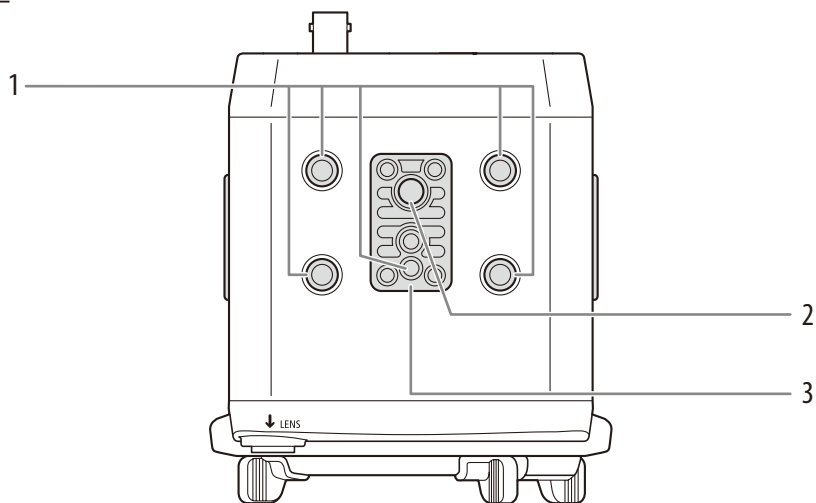
3 EFレンズ取り付け指標▶▶ 22

4 EF-Sレンズ取り付け指標▶▶ 22

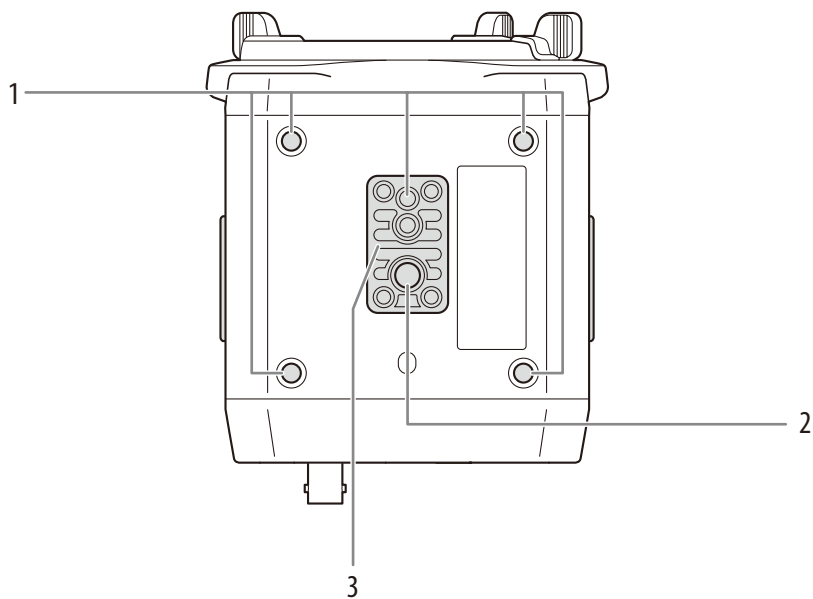
5 EFレンズ接点

6 EFレンズマウント▶▶ 22

上面



底面

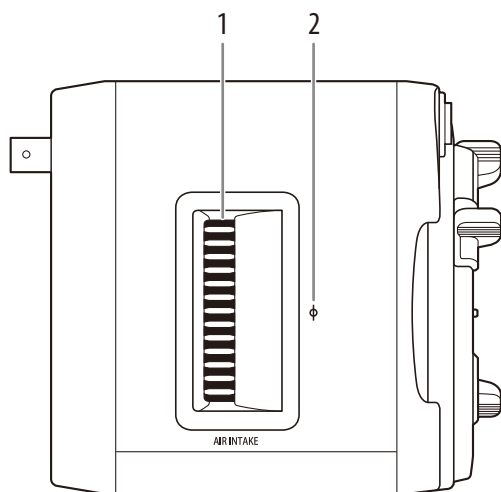


1 1/4インチネジ穴▶▶ 27

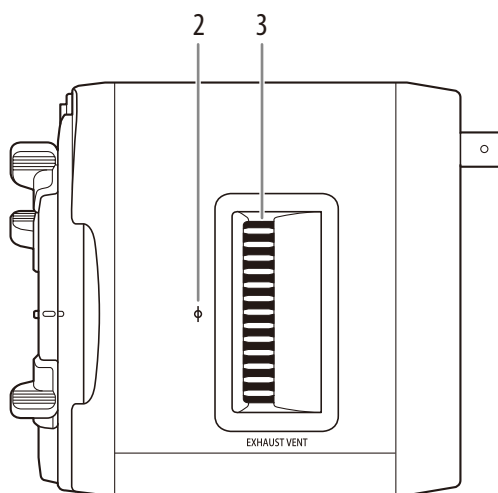
3 3/8インチネジ用三脚ベースTB-1▶▶ 27

2 3/8インチネジ穴▶▶ 27

右面



左面



1 AIR INTAKE(吸気口) ▶▶ 27

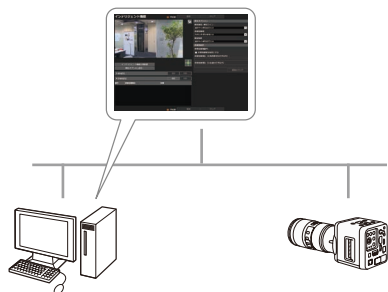
2 ϕ 撮像面マーク

3 EXHAUST VENT(排気口) ▶▶ 27

カメラの操作方法について

本機を操作する方法には、ネットワーク経由でパソコンから遠隔操作する方法と、カメラ後面のボタンから直接操作する2通りの方法があります。それぞれの特長は次の通りですので、用途に合わせて使い分けてください。

ネットワーク経由の操作



ネットワークに接続することで遠隔地からの監視や操作が可能になるだけでなく、各種インテリジェント機能やモバイル端末からの監視も可能になります。

<参照する使用説明書>

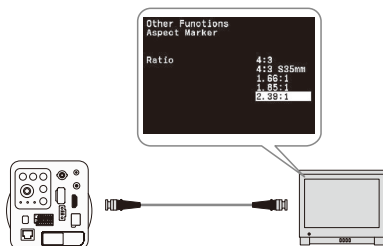
セットアップ手順

➡『セットアップガイド』(本書)

操作/設定方法

➡『操作ガイド ネットワーク編』

ボタン操作



外部モニターを直接本機に接続して操作しますので、その場で画像を確認しながら調整を行うことができます。

*リモートコントローラー RC-V100(別売)でも操作することができます(□ 36)。

<参照する使用説明書>

セットアップ手順

➡『セットアップガイド』(本書)

操作/設定方法

➡『操作ガイド ボタン編』

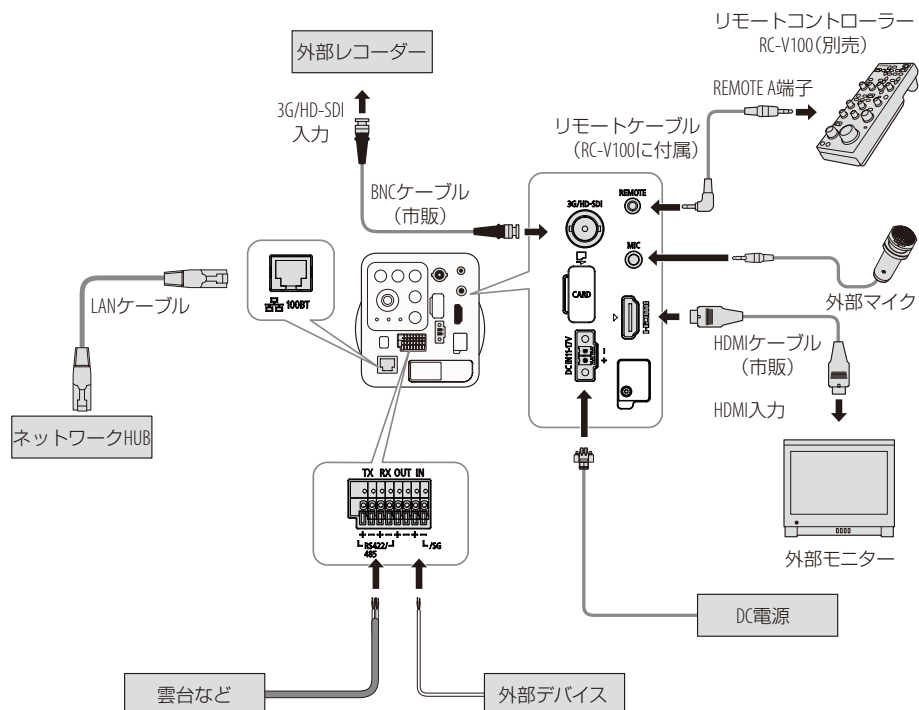
MEMO

- 設定項目によっては、いずれかの操作方法でしか設定できない項目もあります。詳しくは、「操作方法による設定項目一覧」(□ 40)を参照してください。
- 同じ設定項目をそれぞれの操作方法で設定した場合は、後から設定した内容が有効になります。
- ボタン操作を無効にすることができます(□ 『操作ガイド ネットワーク編』)。

セッティング

システム構成例	14	メモリーカードをセットする	25
電源を接続する	15	メモリーカードカバーの外し方	25
PoE+ (Power over Ethernet+)	15	外部機器を接続する	26
外部電源 (DC IN)	16	本体を設置する	27
ネットワークに接続する	18	撮影時のポイント	27
外部モニターと接続する	19	カメラを再起動／リセットする	28
3G/HD-SDI端子を使う	19	再起動	28
HDMI OUT端子を使う	19	リセット	28
ブラックバランスを調整する	20	操作方法によるリセット項目の 違い	29
レンズの取り付け／取り外し	22		
EFレンズを取り付ける	22		
EFレンズを取り外す	24		

システム構成例



MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続したときは、RC-V100本体背面の端子切り換えスイッチがREMOTE A側に切り換わっているか確認してください。
- ネットワークHUBで給電する場合、PoE+対応のネットワークHUBを使用してください。

電源を接続する

カメラには、次の2通りの方法で電力を供給できます。各電源装置に付属する使用説明書を必ず読んでからご使用ください。

ご注意

- EFシネマレンズは、PoE+給電では使用できません。外部電源(DC給電)を使用してください。

■ PoE+ (Power over Ethernet+)

PoE+機能を搭載しています。IEEE802.3at Type2 に準拠したPoE+対応HUBから、LANケーブルを通じて電力をカメラに供給できます。

ご注意

- PoE+対応HUBやMidspanについては、販売店へご確認をお願いします。
Midspan (LAN ケーブル給電装置) は、PoE+対応HUBと同様にLANケーブルを通じてカメラに電力を供給する機器です。
- PoE+対応HUBによっては、ポートごとに使用電力を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しないことがあります。この場合は、制限をかけないでご使用ください。
- PoE+対応HUBによっては、各ポートの合計消費電力の制限がある場合があり、複数のポートを使用する場合に正しく動作しないことがあります。ご使用のPoE+対応HUBの使用説明書をご確認ください。
- PoE+対応HUBと外部電源(DC11V ~ DC17V)の両方を接続した場合、外部電源からの給電が優先されます。また両方を接続した状態から外部電源を取り外すと、カメラへの給電が停止されます。この場合はLANケーブルを抜き差しすると、再び給電されます。

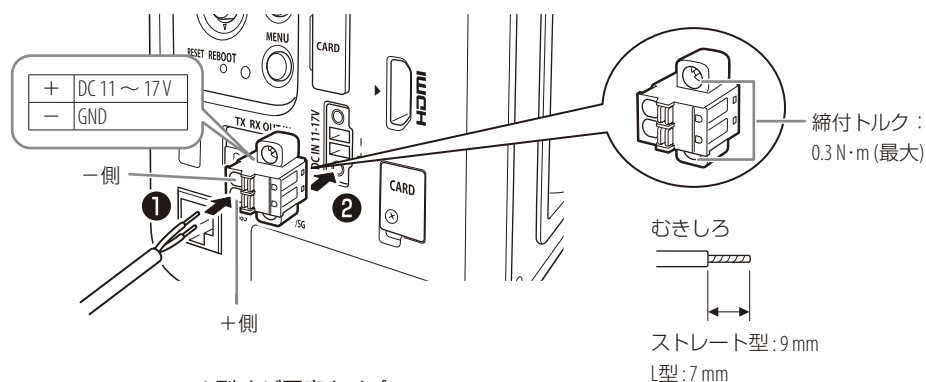
■ 外部電源 (DC IN)

DC11V ～ DC17V入力が可能です。

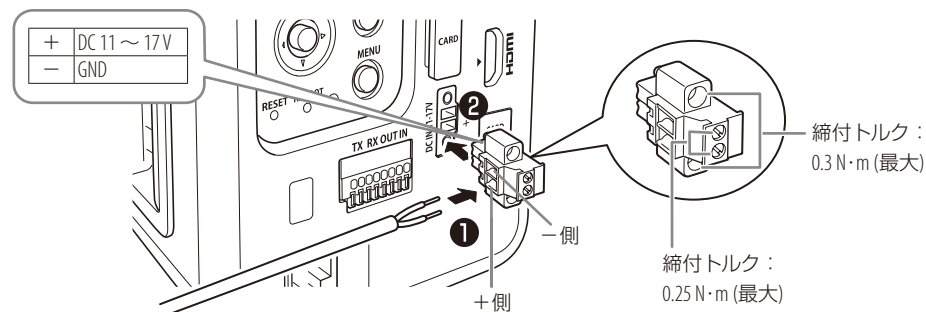
付属の電源用コネクタを、次の図のように接続してください。

接続時は、締付トルクを守ってネジで固定してください。

ストレート型 ネジ固定タイプ



L型 ネジ固定タイプ



ご注意

- 以下の仕様の外部電源アダプター（市販）および電源ケーブル（市販）をご用意ください。

外部電源アダプター仕様

出力電圧：DC 11 ～ 17V

出力電流：3 A以上

電源ケーブル仕様

定格電圧：DC 30 V以上

許容電流：3 A以上

- DC 12 Vのバッテリー電源でご使用の場合は、必ず電源ラインへ直列に 0.5 ～ 1.0 Ω /20 W 以上の抵抗器を接続してご使用ください。
- 商用電源と絶縁された電源をご使用ください。
- 外部電源には二重絶縁構造の機器をご使用ください。

推奨電源ケーブル【参考】

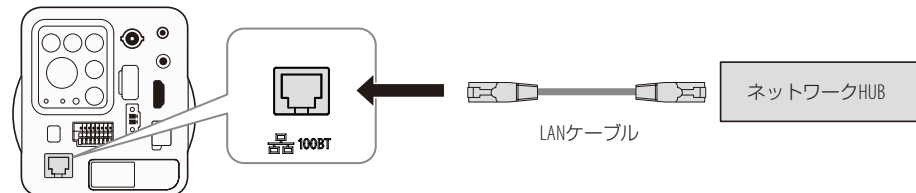
ケーブル (AWG)	24	22	20	18	16
DC 12 V 最大ケーブル長 (m)	1	2	4	6	9
DC 17 V 最大ケーブル長 (m)	11	17	27	43	62

配線にはULケーブル (UL-1015相当品) をご使用ください。

ネットワークに接続する

ネットワークに接続すると、カメラを遠隔操作できるだけでなく、映像の録画や各種インテリジェント機能を使用した監視が可能になります。

またPoE+機能を搭載していますので、PoE+対応HUBからLANケーブルを通じて、電力をカメラに供給することもできます (□ 15)。



LANケーブルは、カテゴリ 5以上で長さ100m以下のものをお使いください。

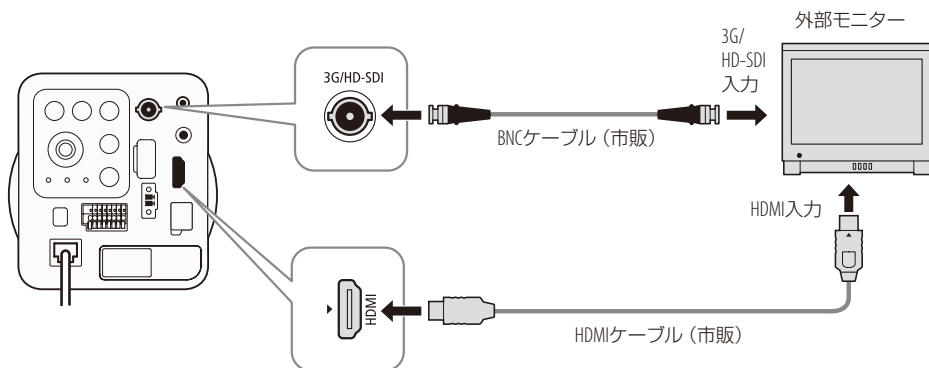
MEMO

- カメラをネットワークに接続するには、最初にカメラの管理者アカウントを設定し、次にIPアドレスなどのネットワークの設定をします。このようなネットワークで使うための初期設定は、カメラマネジメントツールで行います。詳しくは、『操作ガイドネットワーク編』『カメラマネジメントツール 使用説明書』を参照してください。
- ネットワーク経由で映像出力ができるのは、システム周波数「59.94Hz」、フレームレート「29.97P」、解像度「1920 × 1080」の組み合わせのみです。

外部モニターと接続する

ボタン操作を行う場合は、外部モニターを接続する必要があります。

本機の3G/HD-SDI端子、またはHDMI OUT端子を使い、外部モニターと接続します。



■ 3G/HD-SDI端子を使う

本機の3G/HD-SDI 端子と外部モニターをBNCケーブルで接続してください。

■ HDMI OUT端子を使う

本機のHDMI OUT端子と外部モニターをHDMIケーブルで接続してください。

MEMO

● 画面が映らないとき

「システム周波数」、「フレームレート」、「3G-SDI Mapping」の設定を確認してください。工場出荷時は、システム周波数「59.94Hz」、フレームレート「29.97P」、解像度「1920 x 1080」の設定になっています。

- ネットワーク経由で、設定ページから設定を確認／変更できます(□「操作ガイドネットワーク編」)。
- HDMI端子を搭載する外部モニターをお持ちの場合は、本機のHDMI OUT端子を使って接続すると、画面で設定を確認できます。

- 576P、480P入力のみ対応の外部モニターを接続するときは、HDMI OUT端子を使って接続してください。
- 576P、480Pの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されません。
- 3G/HD-SDI端子やHDMI OUT端子で接続した外部モニターの映像には、ネットワーク経由で設定されたオンスクリーン表示やプライバシーシールドは表示されません(□「操作ガイドネットワーク編」)。

ブラックバランスを調整する

はじめてご使用になるときや、使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを調整することをおすすめします。

ブラックバランスはボタン操作でしか設定できないので、外部モニターの接続が必要です。

1 準備する

ボディキャップを使用するとき

- ① カメラの電源を切る。
 - レンズを取り付けているときは、電源を切った後にレンズを取り外す (□24)。
カメラには電源スイッチがありません。電源の入/切は、電源ケーブルの抜き差しで行います。
- ② ボディキャップを取り付ける。
- ③ カメラの電源を入れる。

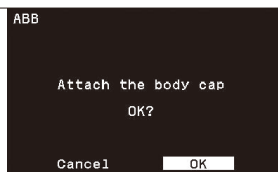
本機が対応するEFシネマレンズ (□39)を使用するとき

既にEFシネマレンズを取り付けているときは、操作2に進む。

- ① カメラの電源を切る。
カメラには電源スイッチがありません。電源の入/切は、電源ケーブルの抜き差しで行います。
- ② EFシネマレンズを取り付ける (□23)。
- ③ カメラの電源を入れる。

2 オートブラックバランス (ABB)を実行する

- ① ABBボタンを押す。
 - 画面に「Attach the body cap OK ?」、または「Proceed ?」が表示される。
 - Camera Setupメニュー ▶ 「ABB」でもオートブラックバランス (ABB) を選べる。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 画面に「Please wait...」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。



ボディキャップ使用時



EFシネマレンズ使用時

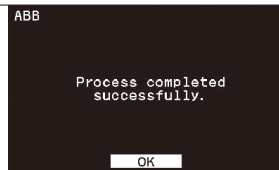


3 終了する

- 画面に「Process completed successfully.」と表示されたら調整完了。SETを押して終了する。

画面に「ABB error」(『操作ガイド ボタン編』)が出たとき

- ボディキャップ、またはEfシネマレンズ(『操作ガイド ボタン編』)によるセンサーの遮光が正しく行われていない。ボディキャップ、またはEfシネマレンズの取り付けやセンサーの遮光を確認し、SETを押して、再度操作2から操作する。



MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- 本機の設定をリセットしたとき。
- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れることがありますが、故障ではありません。
- Efシネマレンズ(『39』)を使用してブラックバランスを調整したときは、アイリスを再度調整してください。

レンズの取り付け／取り外し

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

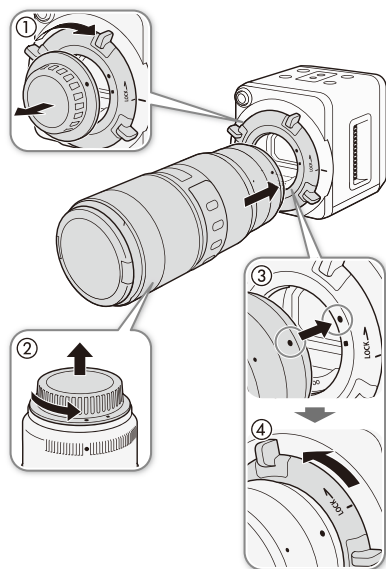
- 直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、本機やレンズを落とさないようにご注意ください。
- 必ず電源を切ってから行ってください。

MEMO

レンズを取り外したとき

- レンズ／本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

■ EFレンズを取り付ける

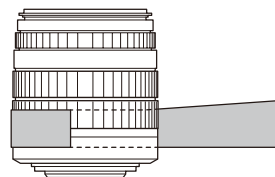


- 1 カメラの電源を切る
カメラには電源スイッチがありません。電源の入/切は、電源ケーブルの抜き差しで行います。
- 2 マウントレバーを時計方向に回して(①)、EFレンズマウントからボディキャップを取り外す
- 3 レンズからダストキャップを取り外す (②)
- 4 本機とEFレンズの取り付け指標 (赤色) を合わせ、レンズをマウントに差し込む (③)
 - EF-Sレンズを取り付けるときは、EF-Sレンズ取り付け指標 (白色) に合わせる。
- 5 レンズを押さえ、マウントレバーを反時計方向に回して、レンズを固定する (④)

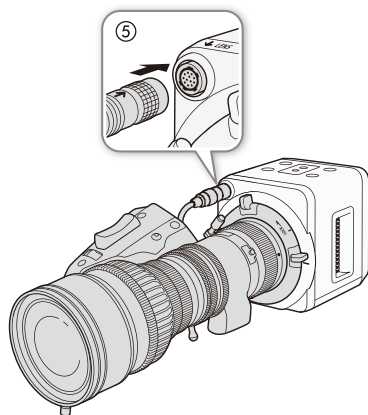
ご注意

ズームレンズを使用する場合

- 設置環境によっては、ズーム位置が変わる場合があります。図のようにズームリングをテープで固定してください（フォーカスリングを固定するとフォーカスが動かなくなりますのでご注意ください）。
- テープは、プラスチックフィルムテープのように剥がれにくく、糊残りが少ないものをご使用ください。



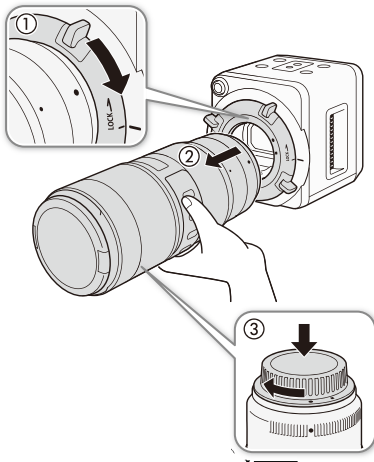
テープを一周巻いて固定します。



12ピンケーブルを備えたEFシネマレンズ
(□39)を取り付けるとき

- 6 12ピン ケーブルをLENS（レンズ）端子に接続する (5)
- 7 カメラの電源を入れる
- 8 レンズのMENU画面を操作して、カメラからの信号経路を設定する
 - レンズのInfo画面「1/fprior」を「Mount」に設定する。

■ EFレンズを取り外す



1 カメラの電源を切る

- LENS(レンズ)端子に12ピンケーブルを接続しているときは、電源を切ってから、12ピンケーブルを抜く。
カメラには電源スイッチがありません。電源の入/切は、電源ケーブルの抜き差しで行います。

2 レンズの下から手を添え、マウントレバーを時計方向に回して (①)、レンズを取り外す (②)

3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける

4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける (③)

MEMO

EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着したとき

- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ (APS-C) やEFシネマレンズが対応するサイズ (スーパー 35mm) より大きいため、EF-Sレンズ、またはEFシネマレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
- 「EF-S Lens」の設定を変更すると、ケラレを回避できます (□『操作ガイド ネットワーク編』または『操作ガイド ボタン編』)。ただし、電子的に約1.55倍に拡大するため、画質が劣化します。
- レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなりますが、レンズごとの補正データを適用して、周辺部の光量低下を補正できます (□『操作ガイド ネットワーク編』または『操作ガイド ボタン編』)。
- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズ*1を装着したときは、ズーム操作に連動してF値を補正するかどうかを選べます*2 (□『操作ガイド ボタン編』)。

*1 一部のEFレンズやEFシネマレンズを除く。

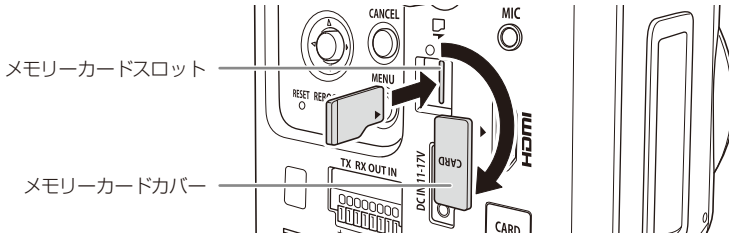
*2 ボタン操作でのみ設定できます。

メモリーカードをセットする

メモリーカードはカメラを設置する前に入れてください。

MEMO

- メモリーカードに記録する場合は、システム周波数「59.94Hz」、システムフレームレート「29.97P」、解像度「1920×1080」に設定してください。



■ メモリーカードカバーの外し方

左側の引っ掛けりに指をあて、手前に引くと外れます。

メモリーカードは、メモリーカードスロットに入れます。

メモリーカードを取り外すときは、カードを奥まで押すと少し飛び出すので、そのまま引き出してください。

ご注意

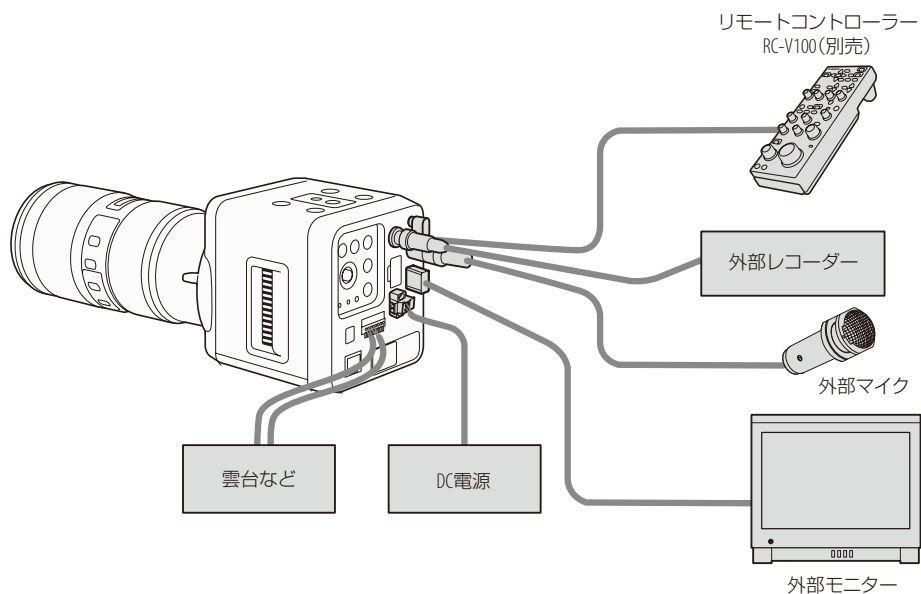
- 必ず電源を切ってから行ってください。
- カメラで初めて使用するメモリーカードは、カメラに入れた後、最初にフォーマットすることを推奨します（☞『操作ガイド ネットワーク編』）。
- メモリーカードを取り外すときは、必ずアンマウント処理を行ってください（☞『操作ガイド ネットワーク編』）。

外部機器を接続する

本機と外部モニターや外部レコーダー、リモートコントローラー RC-V100 (別売)、外部マイク、雲台などを接続します。

ご注意

- 外部機器の接続は必ず電源を切ってから行ってください。

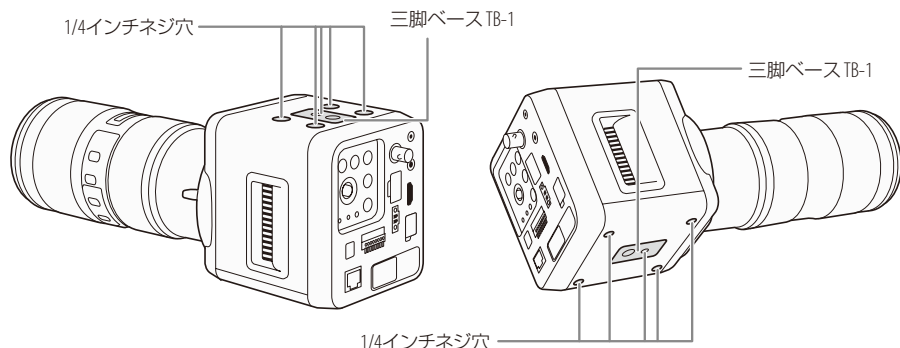


外部機器の接続については、以下のページを参照してください。

- 外部モニター (19)
- 外部レコーダー (32)
- 雲台など (33)
- 外部デバイス (34)
- 外部マイク (35)
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) (36)

本体を設置する

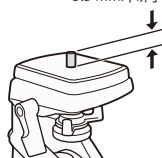
本機は、上面と底面に3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1と1/4インチネジ穴があります。
設置場所に合わせて、三脚、雲台、ハウジングなどへ取り付けられます。



ご注意

- 5.5mm以上のネジを使用すると、本体を破損することがあります。

5.5 mm未満



撮影時のポイント

撮影時には以下のことにご注意ください。

ご注意

- 冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。

MEMO

カラーバー／テストトーンを出力する

- Camera Setupメニュー>「Color Bars」>「Activate」を「On」時は、ネットワーク経由の映像は出力されなくなります。
- 本機のBARボタン、またはリモートコントローラー RC-V100 (別売)のBARSボタンを押すと、カラーバーを出力できます。また、Camera Setupメニュー>「Color Bars」>「Activate」を「On」にしても、カラーバーを出力できます(□『操作ガイド ボタン編』)。
- Camera Setupメニュー>「Color Bars」>「Type」でカラーバーのタイプを変更できます(□『操作ガイド ボタン編』)。
- Audio/Video Setupメニュー>「1kHz Tone」を「On」にすると、カラーバーと同時に1 kHzのテストトーンを出力できます(□『操作ガイド ボタン編』)。

冷却ファンについて

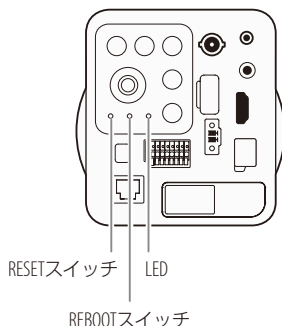
- Other Functionsメニュー>「Fan Speed」で、冷却ファンの回転速度を変更できます(□『操作ガイド ボタン編』)。
- 冷却ファンの回転中は、排気口から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンが故障したら、外部モニターに警告が表示されたり、ネットワーク経由で使用するときにはログで確認することができます(□『操作ガイド ネットワーク編』または『操作ガイド ボタン編』)。

カメラを再起動／リセットする

ここでは、REBOOTスイッチとRESETスイッチの操作方法を説明しています。

ボタンによるメニュー操作*やネットワーク経由で行う場合は、それぞれの操作ガイドを参照してください。

* ボタンによるメニュー操作で再起動はできません。



■ 再起動

カメラを再起動するには、REBOOTスイッチを押します。

■ リセット

工場出荷時の設定に戻してRESETするときは、次の手順でLEDの表示を確認しながらRESETスイッチとREBOOTスイッチを押します。

- 1) RESETスイッチを押しながら、REBOOTスイッチを押す。
- 2) RESETスイッチは押したまま、3秒以上経過してからREBOOTスイッチを離す。
- 3) LEDが点滅したら、RESETスイッチを離す。

点滅が終わったら、リセット完了です（数分かかることがあります）。

MEMO

- 工場出荷設定に戻すと、管理者アカウントも初期化されるため、ネットワークに接続できなくなります。カメラマネジメントツールを使って、初期設定を行ってください。

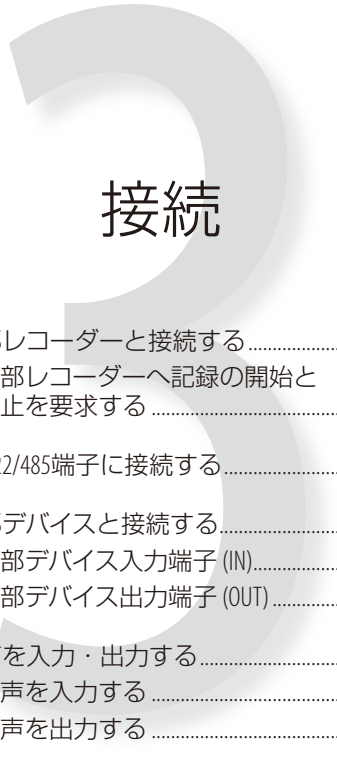
■ 操作方法によるリセット項目の違い

下表のように操作方法によってリセットできる項目が異なります。詳しくは、『操作ガイド ネットワーク編』『操作ガイド ボタン編』を参照してください。

リセットしたい項目	操作方法／設定項目
すべての設定をリセットしたいとき	■ RESET / REBOOTスイッチ ■ ネットワーク経由 (設定ページの[メンテナンス] > [全般] > [初期化] > [ネットワーク設定] > [保持しない])
次のネットワーク関連の設定を残してリセットしたいとき ■ 管理者名 ■ 管理者パスワード ■ ネットワーク設定 ■ NTPサーバー ■ HTTPサーバー ■ ホストアクセス制限 ■ タイムゾーン ■ 証明書 ■ 秘密鍵 ■ IPsec	■ ネットワーク経由 (設定ページの[メンテナンス] > [全般] > [初期化] > [ネットワーク設定] > [保持する]) ■ ボタン操作 (Other Functionsメニュー > 「Reset」 > 「All Settings」)
次のカメラ本体の設定だけをリセットしたいとき ■ ホワイトバランス ■ アイリス ■ ゲイン ■ シャッタースピード ■ NDフィルター ■ カスタムピクチャー ■ フォーカスリミットなど	■ ボタン操作 (Other Functionsメニュー > 「Reset」 > 「Camera Settings」)

MEMO

- いずれの方法でも日付／時刻とアワーメーターはリセットされません。アワーメーターはボタン操作でリセットすることができます(□『操作ガイド ボタン編』)。



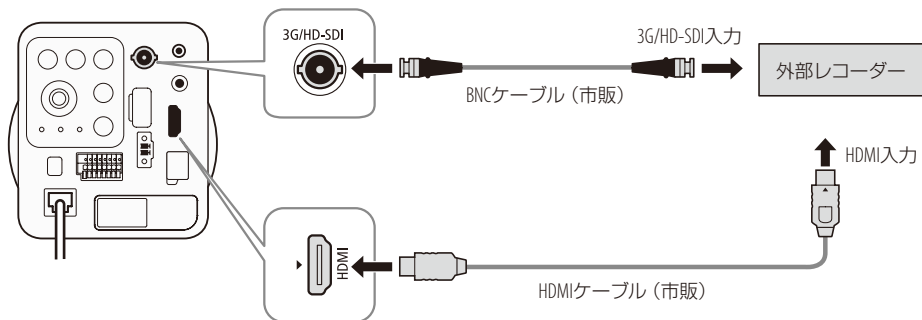
接続

外部レコーダーと接続する	32
外部レコーダーへ記録の開始と 停止を要求する	32
RS-422/485端子に接続する	33
外部デバイスと接続する	34
外部デバイス入力端子 (IN)	34
外部デバイス出力端子 (OUT)	34
音声を入力・出力する	35
音声を入力する	35
音声を出力する	35
リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使う	36

外部レコーダーと接続する

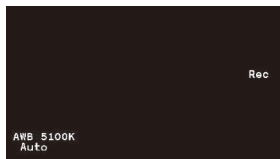
本機の3G/HD-SDI端子、またはHDMI OUT端子を使って、外部レコーダー *と接続できます。外部モニターとの接続は、「外部モニターと接続する」(P19)をご覧ください。

* 対応外部レコーダーについては、お客様相談センターにお問い合わせください。



■ 外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求する

本機と外部レコーダーを3G/HD-SDI端子、またはHDMI OUT端子を使って接続したとき、「External Rec」を割り当てたアサインボタンやリモートコントローラー RC-V100 (別売) の「START/STOP」ボタンで、外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求できます。



- ① アサインボタンに「External Rec」を割り当てる (P19『操作ガイド ボタン編』)。
- ② 「External Rec」を割り当てたアサインボタン、またはRC-V100の「START/STOP」ボタンを押す。
 - 撮影画面に「Rec」が表示される。
- ③ もう一度「External Rec」を割り当てたアサインボタン、またはRC-V100の「START/STOP」ボタンを押す。
 - 撮影画面の「Rec」が消える。

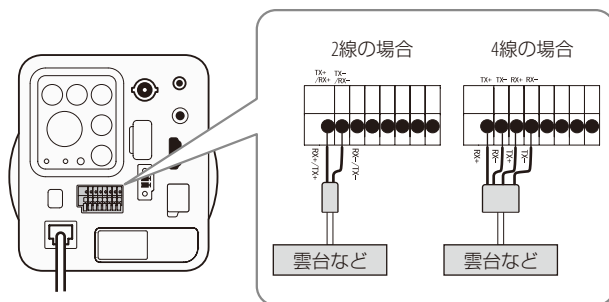
MEMO

- 外部レコーダーへ記録の開始と停止を要求できないときは、Audio/Video Setupメニュー ▶ 「Rec Command」 ▶ 「Activate」が「On」になっているか確認してください (P19『操作ガイド ボタン編』)。
- Audio/Video Setupメニュー ▶ 「Rec Command」 ▶ 「Remove OSD」を「On」にすると、外部レコーダーへ記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にできます (P19『操作ガイド ボタン編』)。
- 外部レコーダーへ記録の要求をしているときは、以下のメニュー設定を変更できません。

■ ABB	■ Reset	■ Assignable Buttons	■ Resolution
■ 3G-SDI Mapping	■ Time Zone	■ System Frequency	■ Camera Name
■ Rec Command	■ Date/Time	■ Frame Rate	

RS-422/485端子に接続する

RS-422/485端子を使って雲台(市販)などの外部機器と接続できます。



ご注意

- RS-422/485端子のボタンを押し込み過ぎないでください。ボタンが戻らなくなる場合があります。

MEMO

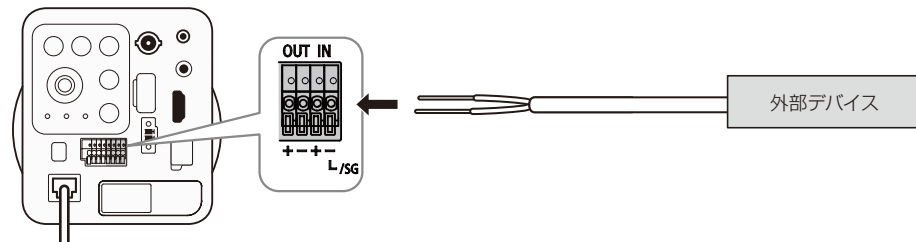
- ケーブルの適応電線は、単線/より線AWG No.26 ~ 20です。
- ケーブルのむきしろは約11mmにしてください。
- ケーブルの推奨最大長は30mです。

外部デバイスと接続する

外部デバイス入出力端子には、入力および出力がそれぞれ1系統あり、ネットワーク経由でビューワーから外部デバイス入力の状態確認と外部デバイス出力の操作ができます（☞『操作ガイド ネットワーク編』）。端子の極性（+/-）に注意して接続してください。

ご注意

- 外部デバイス入出力端子のボタンを押し込み過ぎないでください。ボタンが戻らなくなる場合があります。



■ 外部デバイス入力端子 (IN)

外部デバイス入力端子は2端子(+端子と-端子)で構成され、-端子は本体内部のGNDに接続されています。+端子と-端子に2線のケーブルを接続し、両端子間を電氣的に導通状態または絶縁状態にすることで、ビューワーに通知します。

ご注意

- 接続するセンサーやスイッチは、それぞれの電源やGNDと電氣的に分離された端子を接続するようにしてください。

■ 外部デバイス出力端子 (OUT)

外部デバイス出力端子は2端子(+端子と-端子)で構成されています。それぞれの組に極性はありません。ビューワーからの制御により、2端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。出力端子は光結合素子を用い、本体の内部回路とは分離されています。

出力端子に接続する負荷の定格範囲

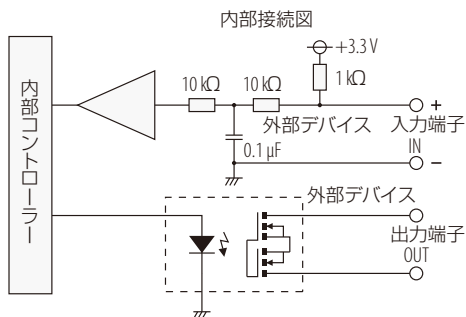
出力端子間の定格：DC最大電圧 50V

連続負荷電流 100 mA 以下

オン抵抗：30 Ω 以下

MEMO

- 外部デバイス用ケーブルの適応電線
単線/より線 AWG No. 26 ~ 20
ケーブルのむきしろは約 11 mm にしてください。

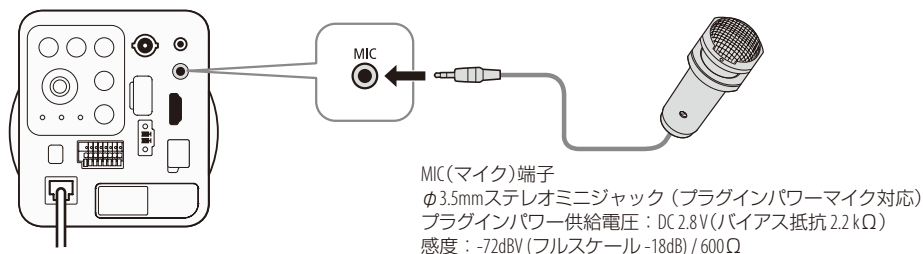


音声を入力・出力する

本機はMIC（マイク）端子にφ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクを接続できます。本機に入力した音声信号は、3G/HD-SDI端子、HDMI OUT端子またはネットワーク経由で出力されます。

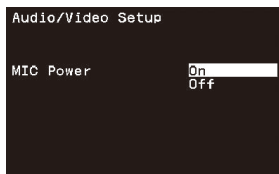
■ 音声を入力する

外部マイクを本機に接続してください。給電が必要な外部マイク（プラグインパワーマイク）のときは、メニューから給電の設定を行ってください。



外部マイクに給電する（プラグインパワー）

ネットワーク経由でお使いの場合は、『操作ガイド ネットワーク編』を参照してください。



「MIC Power」を選ぶ

- ① Audio/Video Setupメニュー ▶ 「MIC Power」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「On」を選ぶ ▶ SETを押す。

ご注意

- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続して「MIC Power」を「On」にすると、外部マイクが故障する可能性があります。

■ 音声を出力する

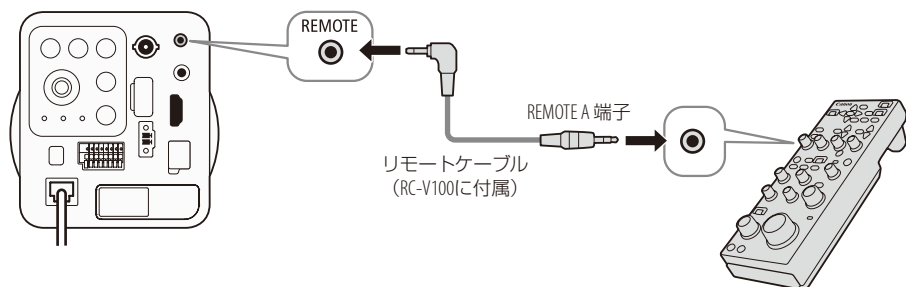
本機は、映像信号と同時に音声信号を出力します。3G/HD-SDI端子、またはHDMI OUT端子から出力される音声信号は2チャンネルのリニアPCM方式(サンプリング周波数48kHz、量子化ビット数16ビット)です。また、ネットワーク端子から出力される音声信号は1チャンネル(モノラル)のG.711 μ -law形式(サンプリング周波数8kHz、量子化ビット数8ビット)です。

出力した音声信号は外部レコーダーで記録できます。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

リモートコントローラーRC-V100(別売)を接続して、本機を操作することができます。メニュー操作に加えて、撮影時はアイリス、シャッターなどのカメラ設定や、フォーカス、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書*をご覧ください。

* 最新の説明書については、キヤノンのホームページをご確認ください。



MEMO

- リモートコントローラーの下記のボタンは本機では使いません
 - ONSCREENボタン
 - SHUTTER SELECTボタン
 - AUTO KNEEボタン
 - AUTO IRISボタン
 - (レックレビュー)ボタン
 - AGCボタン
 - AFボタン
- ZOOMダイヤルは、EFシネマレンズ (□ 39) を装着している場合のみ使用できます。RC-V100でズームを調整するときは、レンズのズームサーボ/マニュアル切替えノブをSERVOにしてください。
- リモートコントローラーで電源をOFFにした後、カメラ本体で電源をONにする場合は、REBOOTスイッチを押すか、LANケーブルを抜き差ししてください。
- リモートコントローラーからの操作を無効にすることができます(□『操作ガイドネットワーク編』)。

4 その他

日常のお手入れ	38
充電式内蔵電池	38
カメラ本体を清掃する （日常のお手入れ）	38
対応レンズと機能	39
操作方法による設定項目一覧	40
ネットワーク経由だけで設定 できる項目	40
ボタン操作だけで設定できる 項目	41
アクセサリ紹介	42
索引	43
商標について	44

日常のお手入れ

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは電源を接続して内蔵電池を充電してください（所要時間：24時間）。

■ カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にプロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センターにお問い合わせください。

動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

ご注意

- レンズの手ブレ補正機構は本機では動作しません。
- EFシネマレンズは、PoE+給電では使用できません。外部電源 (DC給電) を使用してください。

レンズ		12ピン接続	カメラからのアイリス調整	
		要否	マニュアル	プッシュオート* ²
EFレンズ			●	●
EF シネマ レンズ	CN7x17 KAS S/E1	要* ¹	●	●
	CN20x50 IAS H/E1	要* ¹	●	●
	CN- E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN- E70-200mm T4.4 L IS KAS S		●	●

*¹ レンズのドライブユニットに電源供給されていれば、本機との接続は不要。

*² ネットワーク経由では調整できません。

レンズ		カメラからのフォーカス調整	
		マニュアル*	ワンショットAF
EFレンズ		●	●
EF シネマ レンズ	CN7x17 KAS S/E1	●	●
	CN20x50 IAS H/E1	●	—
	CN- E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN- E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●

* リモートコントローラー RC-V100 (別売) を接続時、またはネットワーク経由。

レンズ		フォーカス・ズーム位置のプリセット登録*
EFレンズ		—
EF シネマ レンズ	CN7x17 KAS S/E1	—
	CN20x50 IAS H/E1	—
	CN- E18-80mm T4.4 L IS KAS S	●
	CN- E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●

* ネットワーク経由でのみ設定可能

操作方法による設定項目一覧

操作方法によって設定できる項目が異なります。下表は一方の操作方法でしか設定できない項目の一覧です。

記載されていない設定項目は、操作方法に関わらず設定することができます。詳しくは、『操作ガイド ネットワーク編』『操作ガイド ボタン編』を参照してください。

■ ネットワーク経由だけで設定できる項目

設定項目	メニュー
LAN/IPv4/IPv6/DNS/mDNS	[基本] > [ネットワーク]
管理者アカウント/登録ユーザーアカウント/ユーザー権限	[基本] > [ユーザー管理]
PCとの同期	[基本] > [日付と時刻] > [設定] > [設定方法]
NTPサーバーとの同期	[基本] > [日付と時刻] > [設定] > [NTPサーバーの自動設定] [基本] > [日付と時刻] > [設定] > [NTPサーバー] [基本] > [日付と時刻] > [設定] > [同期間隔]
サマータイム	[基本] > [日付と時刻] > [設定] > [サマータイム]
JPEG品質・映像サイズ/H.264品質・映像サイズ	[基本] > [映像]
デフォルトページ/ユーザー認証/一般ユーザーでのH.264の使用	[基本] > [ビューワー]
カメラ名(日本語)/出力制御/入力制御/カメラ位置制御/外部入出力デバイスの名称	[基本] > [システム]
雲台の操作	[基本] > [システム] > [システム設定] > [パン・チルト・ズーム操作]
フォーカス調整	[カメラ] > [カメラ] > Near/Farボタン
任意のAF枠設定	[カメラ] > [カメラ] > [カメラ設定] > [AF枠位置] > [領域選択]
任意のAE枠設定	[カメラ] > [カメラ] > [カメラ設定] > [測光方式] > [領域選択]
プリセット登録	[カメラ] > [プリセット] > [プリセット登録]
ADSR/オンスクリーン表示/プライバシーマスク	[映像と音声]
サーバー (映像サーバー /音声サーバー /RTPサーバー等)	[サーバー]
映像のアップロード	[映像記録] > [アップロード]
メモリーカードの操作/情報	[映像記録] > [メモリーカード] [メモリーカード] > [メモリーカード]
メール通報	[映像記録] > [メール通報]
外部デバイス入出力(動作モード/アクティブイベント時の動作/赤外撮影切り換え等)	[イベント] > [外部デバイス]
タイマー (タイマーイベント/開始終了時刻/映像記録等)	[イベント] > [タイマー]

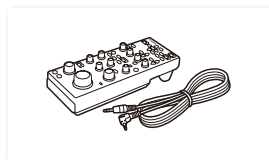
設定項目	メニュー
インテリジェント機能	[イベント] > [インテリジェント機能]
通常撮影切り換え時のプリセット	[イベント] > [赤外撮影切り換え]
赤外撮影切り換え時のプリセット	
セキュリティ (ユーザー管理/ホストアクセス制限/Ipsec等)	[セキュリティ]
情報表示(機種名/ファームウェアバージョン/シリアル番号等)/再起動	[メンテナンス] > [全般]
バックアップ/リストア	[メンテナンス] > [バックアップ/リストア]
ファームウェア更新	[メンテナンス] > [ファームウェア更新]
ログ表示/通知	[メンテナンス] > [ログ]

ボタン操作だけで設定できる項目

設定項目	メニュー
AE Response/Shockless WB/Zoom-Iris Correct./フォーカスリミット/フォーカスコントロール/Auto Black Balance/Color Bars	[Camera Setup]
カスタムピクチャー (クロマキー /カラーマトリクス/カラーコレクション)	[Custom Picture] > [Fine Tuning]
1kHz Tone/3G-SDI Mapping/Rec Command	[Audio/Video Setup]
Assignable Buttons/Fan Speed/Aspect Marker/Custom Display/Reset Hour Meter/カメラファームバージョン表示	[Other Functions]
Push Auto Iris	アサインボタン

アクセサリ紹介

本機は、キャノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。



リモートコントローラー
RC-V100



三脚ベース
TB-1



このマークは、キャノンのビデオ関連商品の純正マークです。

索引

ア

アクセサリ	42
雲台	33
音声を出力する	35
音声を入力する	35

カ

外部デバイス入出力端子	34
記録の開始と停止を要求する	32

サ

再起動	28
三脚	27
接続	
: 外部モニターと接続する	19
: 外部レコーダーと接続する	32

ハ

ブラックバランス	20
----------	----

マ

マイク	35
メモリーカードスロット	25

ラ

リセット	28
リチウム電池	38
リモートコントローラー	36
レンズ	22、39

番号

1/4インチネジ	27
3/8インチネジ	27
3G/HD-SDI	19、32
100Base-TX LAN コネクタ	18

その他

ABB	20
DC IN 11-17端子	16
EF-S	22、24
EFシネマレンズ	20、23、39
EFレンズマウント	22、24
External Rec	32
HDMI OUT端子	19
LENS (レンズ) 端子	9、23
MIC (マイク) 端子	35
PoE+ (Power over Ethernet+)	15
Rec Command	32
REMOTE A端子	36
RS-422/485端子	33
TB-1	27、42

商標について

-  microSD、 microSDHC、 microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標、または商標です。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ / モニタリング機器

 **050-555-90074**

受付時間 <平日> 9:00～17:00 (土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

上記番号をご利用いただけない場合は ☎ 043-211-9622 をご利用ください。

IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)